

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けですが、翌々週の2月11日は祝日のため、次回発行日は平成28年2月12日（金）となります。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・日本版DMOを核とした観光地域づくりで地方創生を～観光庁主催シンポジウム「日本版DMOの形成に向けて」を開催～
- ・船員を目指す生徒へ先輩からのメッセージ～長崎県立鶴洋高等学校で内航出前講座を開催～

2 お知らせ

- ・「MICE 受入環境向上シンポジウム・セミナー」～ライオンズクラブ国際大会を、MICE 需要を取り込むきっかけにする～ が開催されます。
- ・「グリーン経営推進講習会」を開催します！
- ・「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」を開催します！
- ・広報誌「国土交通」（2016. 2-2016. 3）136号が発行されました～特集「航空機新時代の到来～MRJの開発とドローン活用の拡大～」～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

- ◆日本版DMOを核とした観光地域づくりで地方創生を～観光庁主催シンポジウム「日本版DMOの形成に向けて」を開催～

日本版DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

人口減少・少子高齢化に直面する我が国の最重要課題である「地方創生」において、観光により地域を活性化させるためには、日本版DMOを各地域において形成・確立し、これを核とした観光地域づくりが行われることが求められています。

観光庁では、日本版DMOに対する理解の醸成や一層の普及啓発を目的として、全国各地でシンポジウムを開催しており、1月26日（火）にアクロス福岡において第1回目が開催されましたので、概要をお知らせします。

当日は、行政・自治体の他、観光協会等の関係団体、金融機関等の民間事業者などから約250名の参加がありました。

観光庁・舟本 浩 外客受入参事官より「日本版DMOの概要」説明のあと、DMO推進機構代表理事・大社 充氏より「国内外の観光地域づくり体制調査」概要報告がな

されました。続いて、元 Hawaii Tourism Authority 理事の木村 恭子氏より「ハワイ州における DMO の役割とその成果」と題して基調講演がありました。最後に、有識者によるパネルディスカッション「日本版 DMO の形成・普及に向けて」において、国内での先進事例の紹介や日本版 DMO 導入に向けた課題等について議論がなされました。

今後、シンポジウムは2月8日（月）に東京、9日（火）に岡山、10日に大阪で開催される予定です。各会場では開催日の前日まで申し込みが可能となっております。シンポジウムの案内はこちらのURLからどうぞ。

http://www.mlit.go.jp/kankocho/topics04_000044.html

なお、日本版 DMO の詳細につきましては、こちらをご参照ください。

「日本版 DMO について」 http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000053.html
(観光部 観光地域振興課)

◆船員を目指す生徒へ先輩からのメッセージ
～長崎県立鶴洋高等学校で内航出前講座を開催～

九州運輸局海事振興部と長崎運輸支局では、内航船員への志望者を増加させる取り組みとして長崎県立鶴洋高等学校で出前講座を行いました。現在、内航海運業界の船員は高齢化しており、また、若い人があまり入ってこない状況となっております。船舶には定員というものがあり、船員が不足すると船が動かせなくなるのですが、そうなると、食料や石油などの生活物資や鉄鋼・セメントといった建築資材といったものの物流が滞って、私たちの日常生活に大きな支障を来すおそれがあります。九州運輸局では、そういった事にならないように、いろんなところを回って、より多くの方々に船員になってもらうための活動を行っています。

今回の出前講座は、その一環として、内航海運の船員供給源となっている水産系学科のある長崎県立鶴洋高等学校で出前講座を開催したもので、これからそれぞれの進路を決める段階にある水産科（航海・機関）の2年生38名に参加していただきました。

まず、長崎運輸支局の担当者から、内航海運が国内物流の約4割の輸送を担っていること、特に、石油やセメントなどの産業基礎物資にあっては約9割の輸送を担っており、日本の経済や私たちの生活を支えるうえで無くてはならないものであることを中心に説明を行いました。次に、海事振興部の担当者から、船内の生活、労働環境、船員の1日の勤務スケジュール（4時間3交代制での船橋当直（ワッチ）など）、船員の1年の乗船・休暇下船のパターン（3月乗船1月休暇など）や船員の給与は全産業、製造業等と比較すると高い水準にあることなどを説明いたしました。

最後に、地元の海運会社に就職して、現在機関員として活躍している同校OBに、インタビュー形式で、「今どんな仕事をしているのか?」、「やりがいのあることは?」、「学生の時に船員という仕事を選んだ決め手は何か?」、「この仕事を選んで良かったか?」などの質問に答えていただきました。「この仕事を選んで良かったか?」という質問には、力強く「良かったと思っています。」と答えていただき、また、インタビューの最後は「今は授業をきちんと聞くことが一番大切。」との先輩へのメッセージで締めくくってもらいました。生徒とあまり年の離れていない先輩の経験に基づく話を、生徒たちは大変興味深く、また、時には生徒たちからの質問も交え、とても和やかなインタビューになりました。

従来の講座は、運輸局と内航海運事業者の幹部による説明という構成を基本にして

おりましたが、今回の講座では、長崎運輸支局の発案で先輩へのインタビュー形式により船員の仕事や生活について話していただいたもので、生徒にも内航船員の魅力や大変さなどがとてもよく伝わったのではないかと感じました。

九州運輸局では、引き続きこのような出前講座、インターンシップ（就業体験）、海事セミナーを通じて、より多くの方々に内航海運の船員を志望していただくような取組を進めて参ります。

出前講座の様子は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_324_1.pdf

（海事振興部、長崎運輸支局）

2 お知らせ

◆「MICE 受入環境向上シンポジウム・セミナー」～ライオンズクラブ国際大会を、MICE 需要を取り込むきっかけにする～ が開催されます。

本年 6 月に開催され、国内外から約 3.5 万人（うち海外 約 1 万人）もの参加者が訪れる予定の「第 99 回ライオンズクラブ国際大会 2016 福岡」を機にホテル・旅館、飲食、交通、小売等事業者の方々が、特に外国人参加者受入に積極的に取り組むことができるよう、事業改革のヒントや必要な情報を提供するシンポジウムが開催されます。

なお、このシンポジウムは福岡地域戦略推進協議会（FDC）により主催され、九州運輸局が後援を行っております。

■日時：2 月 1 日（月）13：00～15：30

■場所：FFG ホール（福岡市中央区天神 2-13-1）

■対象：外国人観光客誘致に取り組むホテル・旅館、飲食、交通、小売事業者、地方自治体など

■参加費：無料

■申込：先着順 500 名 1/29（金）〆切

■詳細・申込：<http://www.fukuoka-dc.jp/?p=13585>

■お問合せ：

FDC 事務局（大島・豊島）Tel：092-733-5682

E-mail：mice@fukuoka-dc.jp

※MICE とは：国際会議や展示会等のビジネスイベントのことです。

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/mice.html#igi>

（観光部 観光企画課）

◆「グリーン経営推進講習会」を開催します！

九州運輸局では、運輸部門における地球温暖化対策として、環境に配慮した経営（グリーン経営）の普及・推進を図るため、次の日程で「グリーン経営推進講習会」を開催します。トラック・バス・タクシー事業関係の皆様のご参加をお待ちしています。

【トラック事業関係】

日時：平成 28 年 2 月 3 日（水）13：30～16：00

会場：公益社団法人佐賀県トラック協会 研修会館（佐賀市高木瀬西 3-1-20）

【バス・タクシー事業関係】

日時：平成28年2月4日（木）9：30～12：00

会場：公益社団法人佐賀県トラック協会 研修会館（佐賀市高木瀬西3-1-20）

- ・参加費、資料代は無料です。
- ・定員は30名です（お申し込み先着順）。
- ・申込要領等は次のURLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase2015-1218kankyobuturyu.pdf

（交通政策部 環境・物流課）

◆「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」を開催します！

九州運輸局では、九州地方整備局と連携し、より幅広い層の関係者の理解を深めるとともに、地方公共団体を中心に、交通事業者等の実務者向けに住民・事業者等の地域の多様な関係者が当該地域にとって最適な公共交通について検討し、取り組むことを期して「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」を開催することとしました。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

「地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡」

日時：平成28年2月17日（水）13：30～17：10

場所：福岡合同庁舎新館7階 海技試験場
福岡市中央区博多駅東2-11-1

定員：150名（申込先着順、参加無料）

内容：基調講演 九州産交バス株式会社（熊本県熊本市）

事例発表 えちぜん鉄道株式会社（福井県福井市）

制度説明 活性化再生法・平成28年度予算案（公共交通・まちづくり関係）

り関係）

詳細・申込方法については下記リンク先をご覧ください。

【参加申込期限：2月10日（水）】

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2016-0128-koutuukikaku.htm

（交通政策部 交通企画課）

◆広報誌「国土交通」（2016. 2-2016. 3）136号が発行されました～特集「航空機新時代の到来～MRJの開発とドローン活用の拡大～」～

国土交通省の広報誌「国土交通」136号が発行されました。

無料の広報誌「国土交通」は隔月発行で、九州運輸局や運輸支局等に備置しているほか、国土交通本省のホームページにも掲載されています。次のURLからご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004500.html

（総務部 広報対策官）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
